

## 「委員会評価報告書」に対する検討結果等報告書

事業名	朝倉文夫記念館自主事業
担当課・室・係名	まちづくり推進課 文化芸術振興室 朝倉文夫記念館係
<p><b>【処理方針や対応状況、並びに予算への反映状況等】</b></p> <p>現在の自主事業の実施状況は、委員会評価報告書の「事業の概要」まとめられたとおりであるが、【問題点など】に基づいて、提言をいただいた「広範囲に個展の開催」に関しては、昨年度から開始した地元作家による「二人展」（2作家による同時個展、隔年または3年に2回開催を基本とする）を今後も実施する形を核として取り組みたい。また、同じく提言をいただいた「各種イベントの実施」については、地域の関連団体と意見交換を行いながら、協力体制を形成する中で実施を目指したい。</p> <p>なお、「現地でワークショップの機会を増やすなどして『人』を育て、活かすという方向も強化する」という点については、これまでかなり心掛けてきたものの、新型コロナ対策のため、この2年間は実施を控えてきたものである。今後は、状況を見ながら、さらに力を入れていきたいと考えている。</p> <p>令和4年度は、「第16回大分アジア彫刻展」を開催予定であることから、小中学生招待事業を実施し、現地でのワークショップ（ワークシートによる作品鑑賞）に取り組むため、移動手段として利用するバスの借上料を予算に反映させている。</p>	